

令和7年度 愛知教育大学入学試験問題

標準的解答例または出題の意図及び評価の観点

【前期日程】

科目名：歴史総合、日本史探究

I (解答例)

文章を書かせる設問であるから、以下はあくまで1つの例であり、「模範」などではない。史料を読み取り適宜使用して筋の通った意見が述べられていれば、これらの例と必ずしも一致していなくても、積極的に評価する。Ⅱ、Ⅲも同じ。

問1 6世紀の朝鮮半島は、①や③のような隋や唐からの侵攻にさらされ、それに対抗するために②のような権力集中を進めて、戦争に備える準備を進めた。日本もそうした朝鮮半島の情勢をうけて、天皇家が有力豪族を押さえて強力に国内改革を進め、国際的な危機にも対応できる国を作っていこうとした。(136字)

【隋や唐の高句麗攻めが朝鮮半島の緊張状態を高めたこと、戦争に備える体制づくりが進行したこと、日本もそうした動きの中に置かれていたこと、などの背景を、乙巳の変とつなげて考えることができるかどうか重要になり、それに応じて点数を付けていく。】

問2 いわゆる「公地公民制」は、豪族などがバラバラに支配していた土地や民を中央政府の支配下に入れるもので、政府が国内の人や物資を集中的に運用して戦争や土木工事に投入することを可能にした。(90字)

【「大化の改新」についてはいろいろな見解があるが、教科書などで触れられている税制や行政の整備などが、どのような効果を持ち、それが「戦争(危機)の時代」において、どのような意味を持つのか、への視点があれば積極的に評価する。「大化の改新」の概説だけではだめ。】

Ⅱ (解答例)

既に織田信雄の領国は秀吉側の勢力圏に組み込まれていたから、秀吉は三河国内の「高橋郡」を家康と戦うための基地にすることができる。秀吉は圧倒的な優位に立っていて、石川数正もその危機を認識していたが、家康側はなかなか秀吉に屈伏することはできなかった。もし秀吉が予定通りに家康を攻めていれば、家康の敗北は確実であったかもしれない。しかし、大地震は秀吉の戦争準備を遅らせ、また信雄の領国に大きな被害を与えた。そのため戦争どころではなくなった信雄は、秀吉と家康を和睦させようと必死になり、秀吉も家康の服従を認めることになった。天正の大地震は、家康を敗北の危機から救うことで、以後の日本史の流れを変えたのである。(300字)

【既知の暗記内容ではなく、目の前にある史料と地図から、どれだけ具体的な情報を読み取り、そこから筋の通った意見をまとめられるかが評価のポイントであり、そうした姿勢と努力が見えれば積極的に評価する。資史料はつまみ食いではなく、全体を関連づけることが重要。特に初めて見られる「高橋郡」(家康は西三河を支配できていないことを示す)の地図をどれだけ理解し、使用できるかが問われるであろう。使用できていない資史料の分は減点となる。】

Ⅲ (解答例)

問1 ソ連軍はベルリン攻略に向かう中で、東ヨーロッパ諸国に衛星国家を作り、アメリカ主導の西ヨーロッパ諸国と向き合う勢力圏を築いた。そうした社会主義陣営と対抗するアメリカは、アジア太平洋地域では日本をソ連の影響から切り離すことで、自由主義陣営側の前進基地として機能させようとした。(136字)

【社会主義、共産主義、自由主義、資本主義などの言葉はどれを用いてもよい。戦後の冷戦につながるヨーロッパの分断を、アジア太平洋地域の状況、特にアメリカの姿勢と連関させて述べることができるかどうか重要なポイントになる。そうした方向性が見えれば積極的に評価する。】

問2 日本の植民地だった朝鮮半島は、ソ連軍とアメリカ軍の進駐した地域が、それぞれに米ソの後援によって韓国と北朝鮮として独立し、朝鮮戦争を経て、現在まで対立している。大国の思惑によって分断された朝鮮半島に較べると、日本はほとんどソ連軍に占領されず、アメリカの影響下で、1つのまとまった国でありつづけた。(149字)

【朝鮮半島の現状が、日本の植民地支配と敗戦によって原型が作られたものであることの理解と、日本列島がそうならなかった理由をアメリカの実質的な単独占領に求める視角を持てるかが問われる。現在の世界がそうした歴史的な背景によって形づくられていることへの認識が見えれば積極的に評価する。】

令和 7 年度 愛知教育大学入学試験問題

標準的解答例または出題の意図及び評価の観点

【前期日程】

科目名：歴史総合，世界史探究

問 I（標準的解答例）

問 1 ア. マケドニア イ. ナイル ウ. プトレマイオス
 エ. クレオパトラ オ. オクタウィアヌス（オクタヴィアヌス）

問 2

問 a セラピスはエジプトとギリシアの神が習合した神であり、その神殿はギリシア文化が各地の文化と混ざって生まれたヘレニズム文化を象徴している。またカエサレオンは皇帝礼拝の施設であり、アレクサンドリアにおけるローマ帝国の支配を象徴している。(116 字)

問 b 4 世紀初めにはセラペイオンとカエサレイオンという二つの神殿があったが、5 世紀初めには同じ場所に教会が建設された。

問 c 4 世紀以降のアレクサンドリアの都市景観の変化は、ローマ帝国によるキリスト教の公認と国教化に関連している。313 年に皇帝コンスタンティヌスが発したミラノ勅令により、キリスト教は公認された。ただしこの勅令はキリスト教を含むすべての宗教の自由を認めており、ギリシア・ローマの伝統的な神殿はまだ存在していた。しかし379年に即位した皇帝テオドシウス1世は、391年に神殿に近づくことや偶像崇拜を禁止し、同じころアタナシウス派キリスト教を国教として、他の宗教を禁止した。そのため5世紀初めには、アレクサンドリアの神殿は教会に取って代わられることになった。(270 字)

※ 問 I の出題の意図と評価の観点

古代のアレクサンドリアを中心に、ヘレニズム時代からローマ帝国時代までの政治史と宗教史に関する基礎知識の有無を問うた。また年表と地図から情報を読み取って比較し、基礎知識と組み合わせながら、その時代の歴史の流れを記述する力を問う。

問 2 の a については、ヘレニズム文化がギリシア文化と各地の文化の融合の産物であるという知識を、年表とその註から得られる情報と組み合わせて回答してほしい。また、皇帝礼拝がローマ帝国内で実践されていたという知識を手がかりに回答してほしい。

問 b および c については、地図 A に示される二つの神殿がそれぞれ前 285 年、前 26～20 年頃に建設されたことを年表から読み取り、神殿がヘレニズム時代・ローマ時代

を通じて存在していたと解釈してもらいたい。また、地図 A と B の比較から二つの神殿と教会とが同じ場所にあることを読み取り、二つの地図の時期の違いに注目して、4 世紀半ばから 5 世紀初めまでのあいだに、二つの神殿がいずれも教会に転用された（改築・改装）と解釈してほしい。

次にローマ帝国の宗教政策について、ローマ帝国のキリスト教化という基礎知識を前提として考えてもらいたい。第一に資料 A を読み解き、4 世紀初めのローマ帝国はキリスト教を含むあらゆる信仰の自由を保障したと解釈する。第二に資料 B を読み解き、「神殿に近づいてはならず…偶像を崇めてはならず」といった文言から、4 世紀末のローマ帝国は伝統的宗教に対して否定的態度を取ったと解釈する。そして二つの資料を比較して、ローマ帝国は 4 世紀初めには伝統的宗教の信仰を許していたが、4 世紀末には禁止する方針に転換したとを考えてもらいたい。

以上のような地図 A・B の読解・分析結果と資料 A・B の読解・分析結果を総合して、解答を文章として作成してほしい。

問 II （標準的解答例）

問 1 ア. 神秘主義教団（スーフィー）、イ. 鄭和 ウ. ウラマー エ. スルタン

問 2

・エジプト・シリア：13 世紀半ばにマムルーク朝が支配権を握り、十字軍国家を消滅させ、イル＝ハン国の西進を食い止めた。（48 字）

・北部インド：ガズナ朝から独立したゴール朝の将軍アイバクが、13 世紀初めにデリー・スルタン朝を創始した。（45 字）

問 3

・明の対外政策が鄭和艦隊の派遣後に消極的になり、東南アジアへの中国船の来航が減ったため。（問 1 の語句補充と内容が関連するが瑕疵はない。また「鄭和艦隊の派遣後」の記述がなくとも、明の対外政策が消極的になったことが記述されていれば可）

・インドシナ半島（タイ）の仏教国であるアユタヤ朝がマラッカ支配の回復を目指しており、それにマラッカ王国はイスラームを旗印として対抗しようとしたため。

問 4 メッカは預言者ムハンマドの故郷であり、イスラーム教徒の巡礼の目的地であるカーバ神殿がある、イスラームで最も重要な聖地だから。

問 5 17 世紀にオランダの東インド会社はポルトガルやスペインに対抗してアジア交易に参入しようとしており、日本との交易をめぐつても競争関係にあった。その競争に勝利するためにはインド洋交易と東シナ海交易を結ぶ要地であったマラッカを抑え

ることが重要であった。オランダは1641年までに、ヨーロッパの国家で唯一江戸幕府との交易を許される国家になっており、マラッカの獲得はそのことと合わせて、アジア交易におけるオランダの優位を確立するにあたって大きく貢献した。(222字)

※ 問5の出題の意図および評価の観点：以下のような知識を適切に取捨選択・組み合わせ、文章化する力を問う。

- ・17世紀のオランダがポルトガルに対抗してアジア交易に参入しようとしていたこと
- ・マラッカがマレー半島とスマトラ島の海峡部に位置する、インド洋交易と東シナ海交易を結ぶ要地であったこと
- ・マラッカの獲得はアジア交易におけるオランダの優位の確立に大きく貢献したこと
- ・オランダはヨーロッパの国家で唯一江戸幕府との交易を許されたこと
- ・日本とヨーロッパの文物や情報は、オランダを介して交換されたこと など

問III（標準的解答例）

- | | | | |
|--------------|------------|----------------|------------|
| (1) サン=ステファノ | (2) モンテネグロ | (3) 再保障 | |
| (4) ヴィルヘルム2世 | (5) ギリシア | (6) サライェヴォ | |
| (7) 日英 | (8) 袁世凱 | (9) ブレスト=リトフスク | (10) ブルガリア |

問1 オスマン帝国内のスラヴ民族の保護。

問2 a オーストリア b イギリス

問3 1881年にフランスがチュニジアを保護国化した（保護領とした）。

問4 イギリスの3C政策に対抗すべく、ベルリンーイスタンブールバグダードを結び、中東・インド洋への進出を目指したドイツの帝国主義政策。

問5 イギリスのエジプトにおける権益と、フランスのモロッコにおける権益を相互承認した（エジプトはイギリスの勢力圏にありモロッコはフランスの勢力圏にあることを相互承認した）。

問6 ドイツの世界政策やバルカン進出に対抗するために、イラン（ペルシア）における両国の勢力範囲を（北部をロシア、南東部をイギリスの勢力範囲と）定め、アフガニスタン、チベットをイギリスの勢力圏とし、清をチベットの宗主国である（イギリス、ロシアの両国はチベットに対しては不干渉）と認めた。

問 7 アブデュルハミト 2 世による 1878 年の憲法停止に不満を抱く青年知識人・将校が、スルタンの専制政治に反対する「統一と進歩団」を結成し、1908 年に政府に迫って憲法を復活させ政権を握った。翌年、アブデュルハミト 2 世はスルタンの位から退位した。

問 8 1911～12 年、イタリアがオスマン帝国からリビア（トリポリ・キレナイカ）を奪った戦争。

問 9 第 1 次バルカン戦争で獲得した領土の分配をめぐる対立から、ブルガリアと他のバルカン同盟国との間で起こった戦争。

問 10 1915 年 4 月にイタリアと連合国（協商国）の間で成立した秘密条約。この条約により、イタリアは連合国（協商国）側での参戦の見返りに「未回収のイタリア」をオーストリアから獲得する保証を得た。

問 11 毒ガス、戦車、飛行機（から 2 つ）

問 12 軍需産業中心の産業統制、女性の労働動員、食料配給制（から 2 つ）。

問 13 1918 年 11 月 3 日のキール軍港の水兵の反乱をきっかけに兵士・労働者が蜂起し、その結果、帝政ドイツは打倒され、ドイツ共和国臨時政府が成立した。ヴィルヘルム 2 世はオランダに亡命した。

問 14 ドイツはすべての海外植民地と権益を放棄する。アルザス・ロレーヌをフランスに返還する。多額の賠償金の支払い（1320 億マルク）。

問 15 パリ講和会議で山東省二十一か条要求の破棄や山東省のドイツ権益の返還要求が拒否されたことに抗議するデモ。北京で起こり中国全土に波及した。

令和7年度 愛知教育大学入学試験問題

標準的解答例または出題の意図及び評価の観点

【前期日程】

科目名：地理総合，地理探究

I

問1 ①

問2 I：B II：C III：A

問3 (ア) 地中海性気候 (イ) 夏季 (ウ) 硬葉樹 (エ) テラロッサ (オ) オリーブ

問4 (解答例)

(1) 南米大陸西岸に沿って流れる寒流のペルー海流（フンボルト海流）が大気を冷やすことで上昇気流が発生しにくくなり，大気が安定するため。

(2) 日本の太平洋側では，夏季の初めに梅雨前線の影響を受けるほか，盛夏には太平洋高気圧から吹き出す湿った南東の季節風によって大気が不安定になりやすいため。

II

問1 ③

問2 (解答例) 谷である。等高線が低所から高所に向かって凸となっているため。

問3 ③

問4

(1) 東

(2) ①西 ②東

(3) (ア) 対馬海流 (イ) 上昇 (ウ) 侵食 (エ) カール (オ) 氷河

III

問1 (あ) 付加価値 (い) 工場制手工業（マニファクチュア） (う) 産業革命 (え) ランカシャー

問2 (理由) A 地方では，アパラチア山脈から大西洋岸に流れる河川にいくつもの滝があり，その滝の落差を利用した水車動力や水力発電によって綿織物工業が発達し，滝線都市が形成された。その後，より安い労働力の獲得を目指して南部のコットンベルトでも綿織物工業が盛んになったため，B 地方へと拡大したから。

問3 (番号) ②

問4 (例) 出版・印刷業の原料はどこでも入手可能な紙であるため，印刷物の輸送費の面から消費地である市場（大都市）に近接して立地する。また，出版・印刷業に特有の情報に対する重要性からも市場に近い立地が有利であるから。

問5 (例) 地球温暖化はわれわれが直面する重大な環境問題であり、その解決として電気自動車の開発が急がれるが、電気自動車は生産や利用の過程で二酸化炭素を出したり、大量の電力を必要とするため、火力発電所を稼働したり太陽光パネルの増加などが結果として豊かな森林を破壊しかねない。加えて、電気自動車は部品数が少ないので、それまでの町工場は大打撃を受ける可能性も高い。一方で、水素自動車は複雑で部品数も多く、水素ステーションの普及などの課題はあるものの、町工場の集積も守れて環境問題やエネルギー問題の解決にもつながるから C 自動車は水素自動車の生産に乗り出していると生徒たちは考えた。

IV

問1 A バンコク B ジャカルタ C ウランバートル D 北京 E マニラ

問2 ① コーヒー豆 ② 米 ③ パーム油

問3 (あ) シンガポール (い) インドネシア (う) フィリピン (え) ミャンマー

問4 (例)

(賛成の立場) 図5から、今後アジア全体の経済が他の地域よりも成長することがわかる。RCEPは中国やASEANといった、そのアジアの国々が中心になっていることから、日本を含むアジアの経済成長がさらに期待できる。また、図6と図7から、現在日本が個別に貿易している国のおよそ半分がこのRCEPに加盟している国であり、これらの地域との貿易の活性化がこれまで以上に促進されるに違いなく、日本経済にとって追い風になることは相違ない。たしかに、図8にみられるように、食糧自給率が低い日本にとって、安い海外の農産物が輸入されることによる打撃はあるかもしれないが、米などは関税がかけられ保護されると資料1にあることから心配はないと思う。よって、このRCEP協定に日本が加盟することに賛成である。

(反対の立場) たしかに、図5、図6、図7からみて、これから成長するアジア経済の中で、アジアの国が中心となっているRCEPに加盟することは国益になることが充分予想される。しかしながら、図8をみてわかる通り、日本は多くの農産物の自給率が100%とはいえないし、多くのものが少しずつその自給率を低下させている。資料1では、米などの農産物重要5項目には関税をかけるといっている。しかしながら、5項目以外の関税はいずれ撤廃され海外からの安い農産物や畜産物が流入することになり、日本の農業への打撃が予想される。現在においても非常に低い日本の食料自給率がさらに下がり、輸入食料への依存が一層強まるおそれがある。日本の食の安全保障が大きく脅かされるおそれがあることから、このような協定は見直すべきであり、加盟には反対である。

令和 7 年度 愛知教育大学入学試験問題
標準的解答例

【前期日程】

科目名：公共、倫理

I

問1 アイデンティティの確立

問2 (a)生理的 (b)安全 (c)所属 (d)愛情 (e)承認

問3 ホロコースト

問4 (解答例)

※キーワード(価値観 構成員 信念 自己 尊重 共有 人生 他者 多様 個人)から3つ以上使用
私たちの社会を自由に生きることができる公共的空間にするためには、異なる価値観をもった個人を互いに尊重し合い、時には意見をぶつけ合いながら、他者もまた、自己と同様に、固有の人生を生きており、社会における構成員の数が増えれば増えるほど、価値観や信念が多様なものになることを社会の構成員で共有する必要がある。

問5 (解答例)

※キーワード(表現の自由 公共の福祉)を使用

表現の自由に基づき、自らの意見を主張した結果、他者の尊厳を踏みにじる行為がヘイトスピーチである。しかし、自由の主張は、他者の自由を認めることが前提である。これを無視して、自由や権利を乱用することは、公共の福祉に反するとし、憲法は認めていない。ヘイトスピーチを生まないためには、他者に対する寛容さが必要である。多様な人々の存在を認め、共に社会を形成する一員であると理解し、個々の人権と自由を尊重するよう心がけていかなければならない。

問6 (解答例)

※キーワード(忘れられる権利 表現の自由 知る権利 人格権 プライバシーの権利)を使用

【認められる】

一度は逮捕歴を報道され、社会に知られてしまった犯罪者といえども、プライバシーの権利を有しており、人格権として私生活を尊重されるべき権利を有し、更生を妨げられない利益を有するから、ある程度期間が経過した後は、過去の犯罪を社会から忘れられる権利を有する。

【認められない】

インターネットの検索エンジンは、利用するユーザーの知る権利や情報提供者の表現の自由にとって意義があり、大きな役割を果たしている。検索サービスの役割とプライバシーを比べてみて、逮捕歴を公表しない利益が明らかに上回っていない場合は、認められない。

Ⅱ

問1 (1) (哲学者名) エピクロス

(アタラクシア) (解答例) 満たされない欲望、神の迷信、死の不安などから解放された魂の平静のこと

(2) (解答例) 最も多くの人に最も多くの快樂が満たされる社会こそが、目指されるべき最善な社会であるということ

問2 (解答例) ルサンチマンから解放され、自己自身を「より強く」「より高く」強化・向上していく力そのものを無条件に肯定するような、新しい価値の創造者としての人間のこと

問3 (解答例) 理性的動物である人間に固有な能力である理性が、現に最も卓越した仕方では活動していること、すなわち観想的な仕方では活動していること

問4 (解答例) 意志の自己律法という形で自己自身に課された格率を、無条件の定言命法として引き受ける、という仕方ではなされた行為のこと

問5 (解答例) 幸福とは他から与えられるものではなくて、自ら行動してつかみ取るべきものである。それゆえ、他人に幸福を与えることができるとすれば、それは自分自身のうちに幸福をつかんでいる限りにおいてである。労苦のうちで勝ち取られた「力の増大」を自ら示すことによって、他人へも勇気や希望、生きる喜びを与えることができる。

Ⅲ

問1 経世済民

問2 (1) (解答例) 人為を超えた宇宙の原理に根ざす超越的規範として捉える従来の見解と違って、「道」をあくまで人為的に設定された社会制度と不可分なものとして捉える点に、荻生徂徠の特徴がある。

(2) (解答例) 言葉では表現できない万物の根源

問3 (解答例) 朱子学によれば、自然の理にかなった「本然の性」(理)は、本来的には誰の身にも備わっているのだが、同時に人間は、欲や情念をもたらす「氣質の性」(気)をもつ。したがって、「氣質の性」による影響を学問を通じて取り除くことに努めれば、誰でも聖人になることが出来ると考える。

問4 (解答例) 伊藤仁斎は、個人的倫理としての道德の道と、社会制度としての経世済民の道とを区別して、孔子の道を私的な道德の問題のうちに見る。それに対して荻生徂徠は、孔子の道を、あくまで経世済民を目的とする具体的な社会制度としての道であると捉え、道德の道と経世済民の道の不可分理性を強調する。

問5 (解答例) 儒学とりわけ朱子学による価値基準に染まる以前の、古人のものの見方や感じ方を再発見するためには、外国由来の漢語に基づく理解を離れて、古人が使用していた大和言葉にもとづき、和歌や物語に見られる「人の情」「もののあはれ」を考察する必要があるから。

令和7年度 愛知教育大学入学試験問題
標準的解答例

【前期日程】

科目名：公共、政治・経済

I

問1 アイデンティティの確立

問2 (a)生理的 (b)安全 (c)所属 (d)愛情 (e)承認

問3 ホロコースト

問4 (解答例)

※キーワード(価値観 構成員 信念 自己 尊重 共有 人生 他者 多様 個人)から3つ以上使用
私たちの社会を自由に生きることができる公共的空間にするためには、異なる価値観をもった個人を互いに尊重し合い、時には意見をぶつけ合いながら、他者もまた、自己と同様に、固有の人生を生きており、社会における構成員の数が増えれば増えるほど、価値観や信念が多様なものになることを社会の構成員で共有する必要がある。

問5 (解答例)

※キーワード(表現の自由 公共の福祉)を使用

表現の自由に基づき、自らの意見を主張した結果、他者の尊厳を踏みにじる行為がヘイトスピーチである。しかし、自由の主張は、他者の自由を認めることが前提である。これを無視して、自由や権利を乱用することは、公共の福祉に反するとし、憲法は認めていない。ヘイトスピーチを生まないためには、他者に対する寛容さが必要である。多様な人々の存在を認め、共に社会を形成する一員であると理解し、個々の人権と自由を尊重するよう心がけていかなければならない。

問6 (解答例)

※キーワード(忘れられる権利 表現の自由 知る権利 人格権 プライバシーの権利)を使用

【認められる】

一度は逮捕歴を報道され、社会に知られてしまった犯罪者といえども、プライバシーの権利を有しており、人格権として私生活を尊重されるべき権利を有し、更生を妨げられない利益を有するから、ある程度期間が経過した後は、過去の犯罪を社会から忘れられる権利を有する。

【認められない】

インターネットの検索エンジンは、利用するユーザーの知る権利や情報提供者の表現の自由にとって意義があり、大きな役割を果たしている。検索サービスの役割とプライバシーを比べてみて、逮捕歴を公表しない利益が明らかに上回っていない場合は、認められない。

II

問1 (a)高等 (b)地方 (c)家庭 (d)簡易 ※(b)および(c)は順不同

問2 (e)国会 (f)弾劾裁判所

問3 (解答例)

政府の権力によって議員の職務執行が妨害されることがないように、議員の身体の自由を保障し、議員の審議権を確保することで、国民の意思を国会に反映するため。

問4（解答例）

強制、拷問もしくは強迫による自白や、不当に長く拘留もしくは拘禁された後の自白は、被疑者が任意で行った自白ではなく、虚偽の自白である可能性があり、虚偽の自白を証拠とすることによる誤判を防ぐため。

問5（解答例）

製造物責任法(PL法)、消費者契約法、金融商品販売法などから1つ解答する。

問6 国際司法裁判所(ICJ)

Ⅲ

問1 (a)リカード (b)自給自足 (c)比較生産費説 (d)国際 (e)垂直 (f)労働 (g)資本
(h)グローバル・サプライチェーン (i)水平 (j)自由 (k)リスト (l)保護 (m)世界恐慌
(n)ブロック (o)減少

問2 (1)(解答例)

B国における商品Xおよび商品Yの1単位の労働量がA国よりも少ないので、B国は絶対優位を持つ。

(2)(解答例)

A国

A国においては、商品Xよりも商品Yのほうが1単位あたりの労働量が少ないので、商品Yに特化すべきである。その結果、A国の商品Yの生産量は、商品Xの労働量が商品Yに加わることで、さらに2単位生産できるため、最大3単位生産可能となる。

B国

B国においては、商品Yよりも商品Xのほうが1単位あたりの労働量が少ないので、商品Xに特化すべきである。その結果、B国の商品Xの生産量は、商品Yの労働量が商品Xに加わることで、さらに2単位生産できるため、最大3単位生産可能となる。

問3（解答例）

世界中で出入国の制限が講じられたり、ロックダウン(都市封鎖)が行われたりした結果、世界各国の工場が操業停止となり、世界規模でのサプライチェーンの寸断が拡大し、国内企業の生産活動が停滞した。

問4 (1) (p)GATT(関税及び貿易に関する一般協定) (q)自由(貿易) (r)無差別
(s)多角 (t)サービス (u)知的財産 (v)WTO(世界貿易機関)
(w)ダンピング(不当販売) (x)セーフガード ※(q)および(s)は順不同

(2)(解答例)

最恵国待遇とは、いずれかの国に与える最も有利な待遇を、他のすべての国に対して与えなければならないこと。

(3)(解答例)

内国民待遇とは、輸入品が国内製品よりも不利にならないように、自国内の製品と同様の待遇を与えること。

(4)(解答例)

ねぎ、生しいたけ、畳表の中から1つ解答する。